

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 54 : ^{いいだし}長野県飯田市 (人口: 101,581人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

中央高速バス 飯田駅前バス停	【東京方面】 新宿バスターミナルから約 4 時間
	【名古屋方面】 名鉄バスセンターから 約 2 時間

(2) 事業実施の目的等

ワーキングホリデー飯田 : 農業に関心がある方や農業に取り組んでみたい方と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける長野県飯田市の“援農”制度です。

(3) 体験の内容

飯田市内の農家の作業手伝い。

- ・主な作業内容 果樹 リンゴ、梨、もも (春: 摘花、摘果 夏から秋: 収穫)
柿 (干し柿) (秋: 収穫 干し柿加工作業)
野菜 植付から収穫まで受け入れ時期に適した作業 など
- ・受入農家と参加者同士の交流会 (春・秋のみ)

(4) 受入主体

ワーキングホリデー飯田事務局
(飯田市農業振興センター)

(5) 受入期間

通年 (基本3泊4日)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者負担 宿泊費: 無料 (受入農家へ民泊) 食事代: 無料 (受入農家で食事)
① 要件	健康で農作業ができる者
② 応募締切り	希望する初日の2週間前まで「ワーキングホリデー参加申込書」に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX、電子メールで申込み ※郵送先は、(8) お問合せ先欄に掲載の住所へ
③ 宿泊施設	受入農家で民泊
④ 食事形態	受入農家で食事提供
⑤その他	作業ができる服装、着替え、洗面道具などを準備してください。

(7) 地域担当者から一言

飯田は果樹栽培が盛んです。春はりんごの摘花・摘果、秋には梨、桃、りんごの収穫、干し柿作りのための皮むき・吊し等、短期間に作業が集中し、農家は手間の確保に苦慮しています。農作業の手助けが必要な農家の要望と、都市住民の田舎志向や就農志向の高まりを背景にこの事業は平成10年にスタートし、定評と実績として年間約400名、総計約6,000名が参加しています。

(8) お問合せ先

自治体名	飯田市	担当部署	産業経済部 農業課 農業振興センター係
(ふりがな)	ごとうあきよ まつえひでのり	TEL:	0265-21-3217 (直通)
担当者氏名	後藤章代、松江秀則	FAX:	0265-52-6181
E-mail:	worholi@city.iida.nagano.jp		
URL:	http://www.city.iida.lg.jp/site/waki/		
応募宛先	〒 395-0817 長野県飯田市鼎東 281 番地 飯田市農業振興センター (農業課) 内 ワーキングホリデー飯田事務局		